

財政状況の公表（令和2年度下半期）概要版

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

令和2年度予算のあらまし 一般会計「5号補正から11号補正」の概要

補正額 197億9,031万2千円

<歳入>

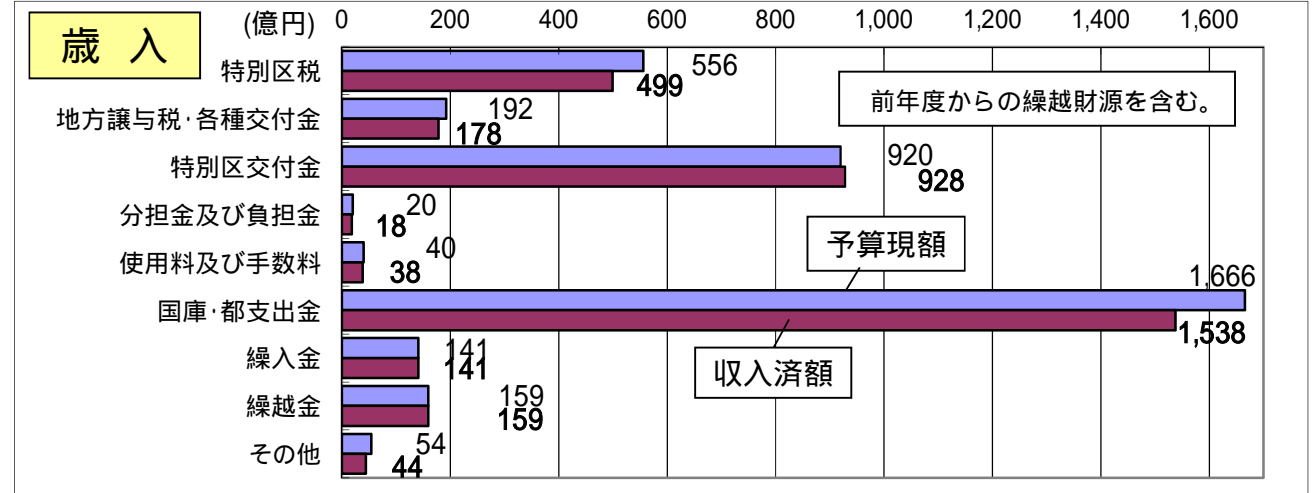
国庫支出金	85億4,969万4千円
繰入金	40億7,794万1千円
都支出金	37億4,789万円
繰越金	34億6,530万1千円
諸収入	3億9,364万円
地方特例交付金	2億5,783万1千円
その他（減額補正含む）	7億198万5千円

<歳出>

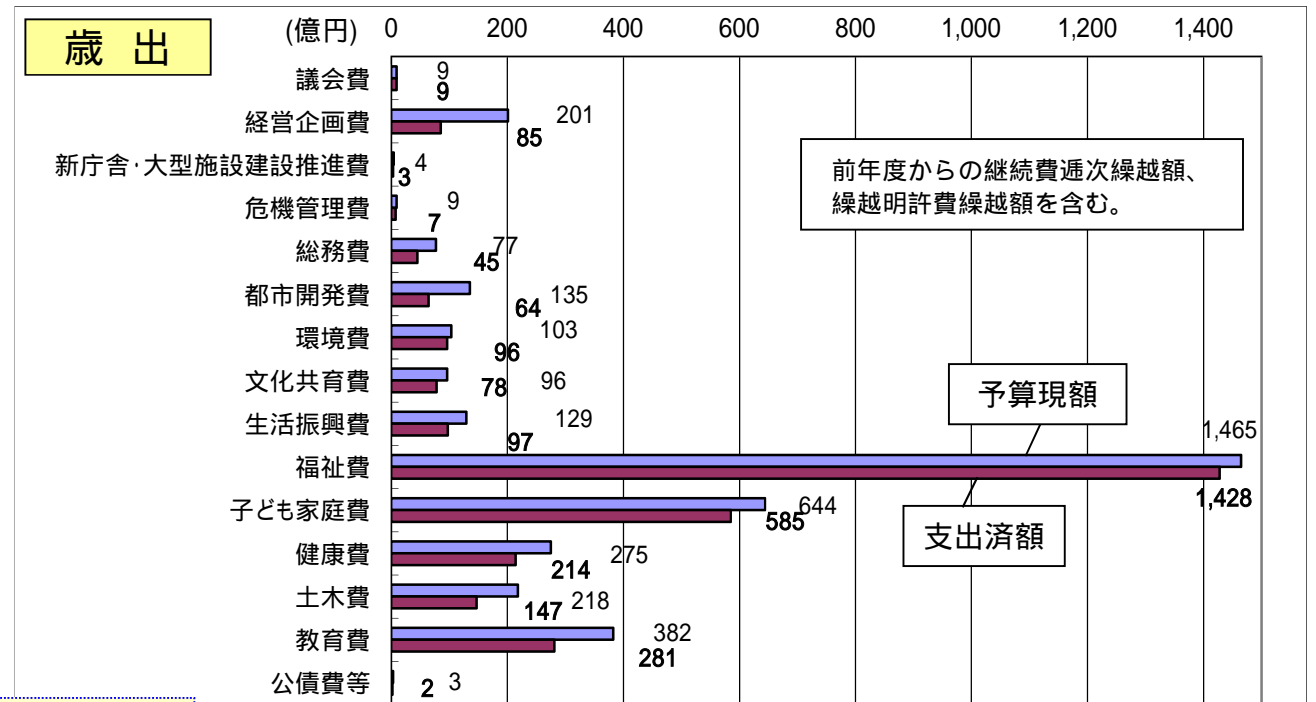
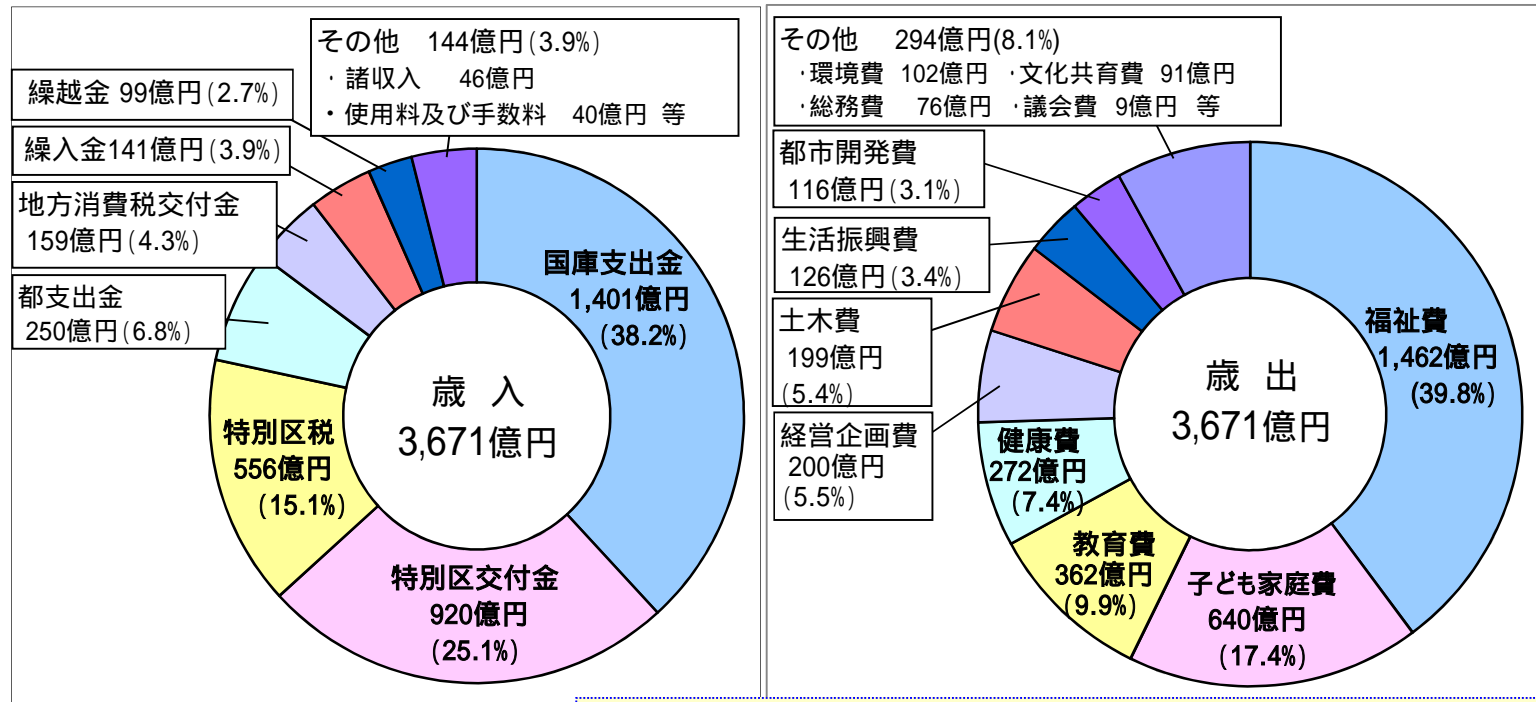
新型コロナウイルスワクチン接種対策費	46億4,678万7千円
ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費・事務費	2億6,080万2千円
新型コロナウイルス感染症対策関係費	17億8,078万7千円
再開事業推進費	39億3,577万7千円
J R小岩駅周辺地区等街づくり基金積立費	41億8,627万3千円
災害対策基金積立費	29億6,987万9千円
一般職の給与費	8億7,360万5千円
その他（減額補正含む）	28億8,361万2千円

令和2年度予算の執行状況 一般会計

（令和3年3月31日現在）

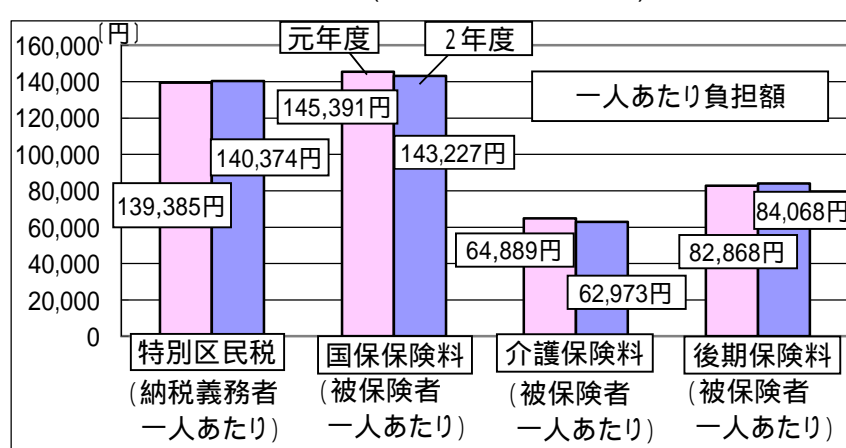


2年度補正後の一般会計予算の構成

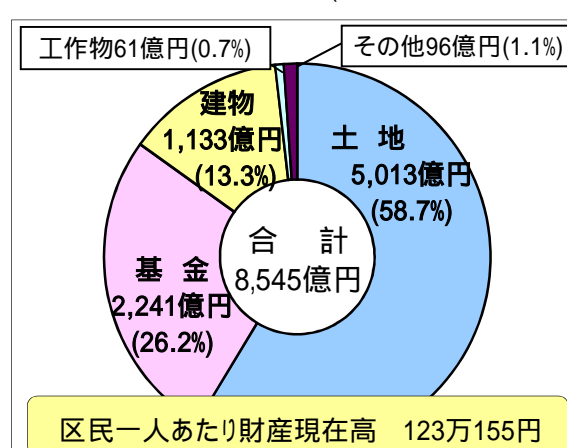


江戸川区の人口（住民基本台帳人口 外国人を含む）694,630人（令和3年4月1日現在）

区民の負担概況（令和3年3月31日現在）



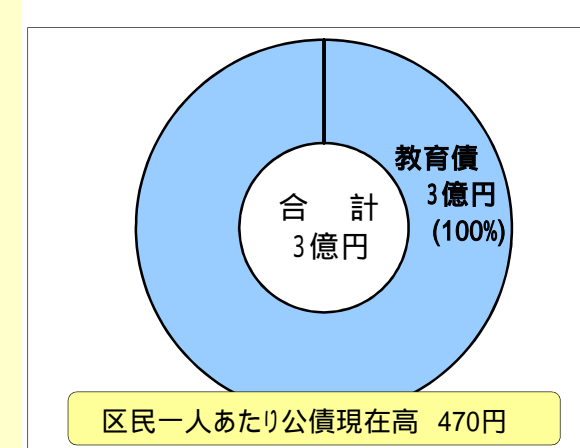
財産の現在高（令和3年3月31日現在）



基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金はこの2つの合計です。
 積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、3月末現在高は2,036億円です。
 運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

公債の現在高（令和3年3月31日現在）

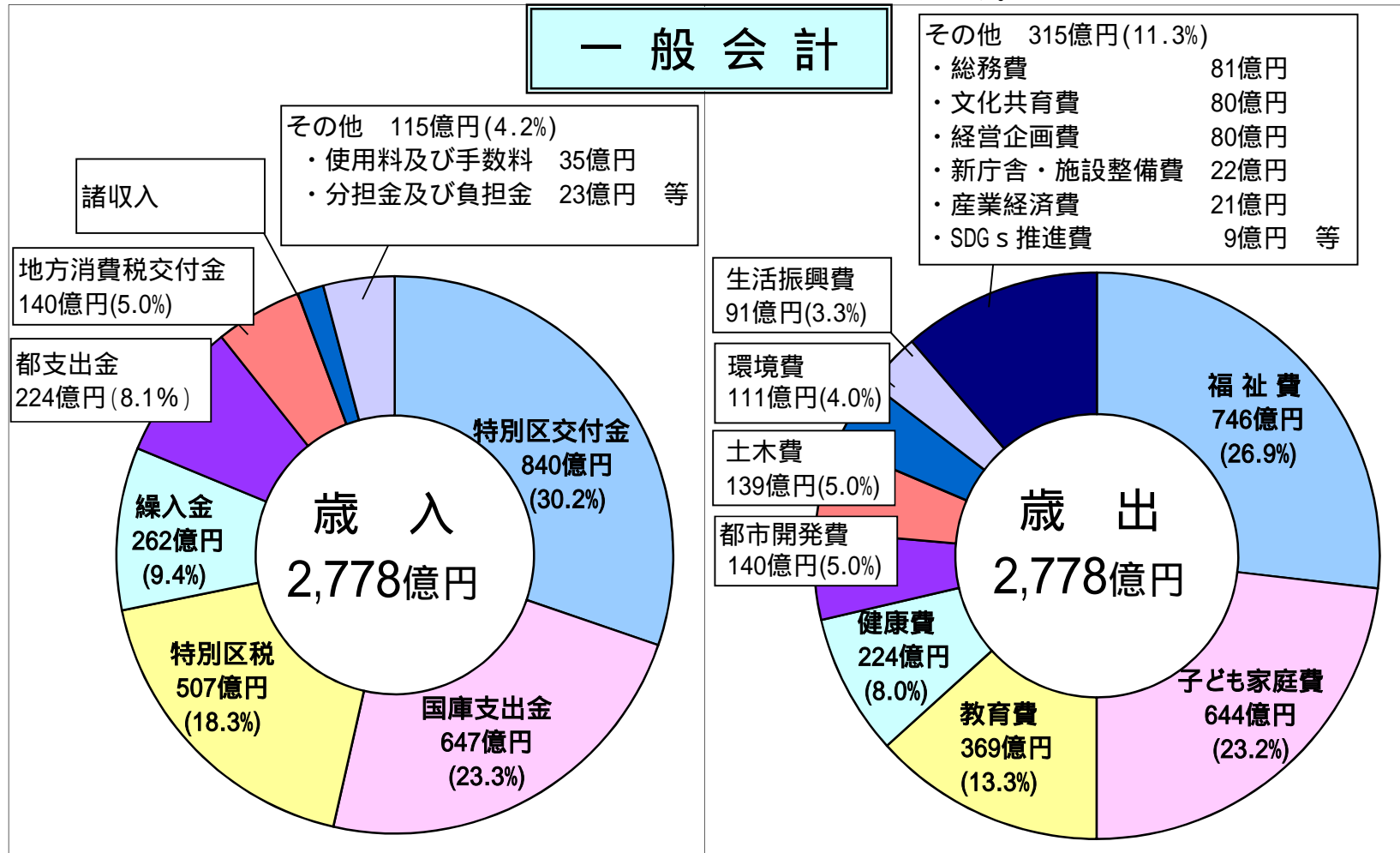


公債(区債)とは...

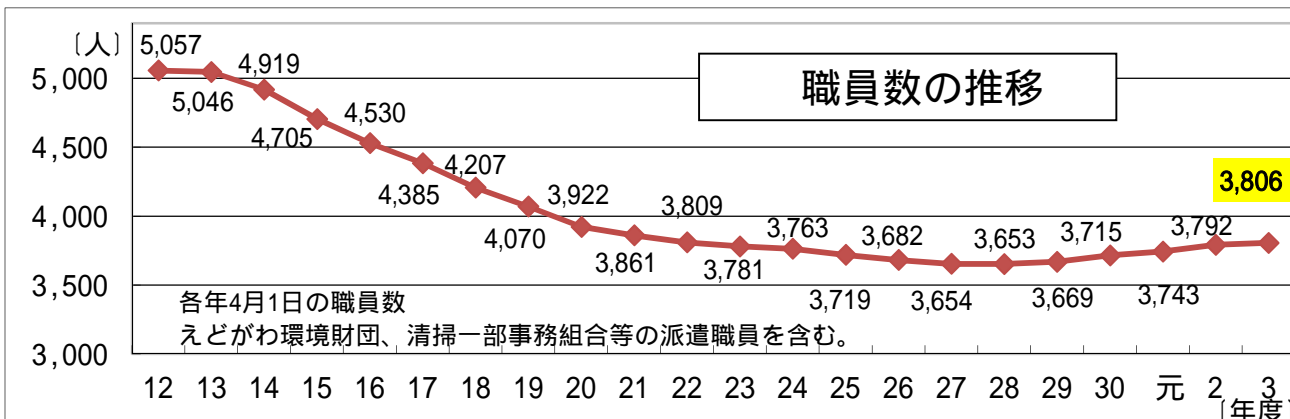
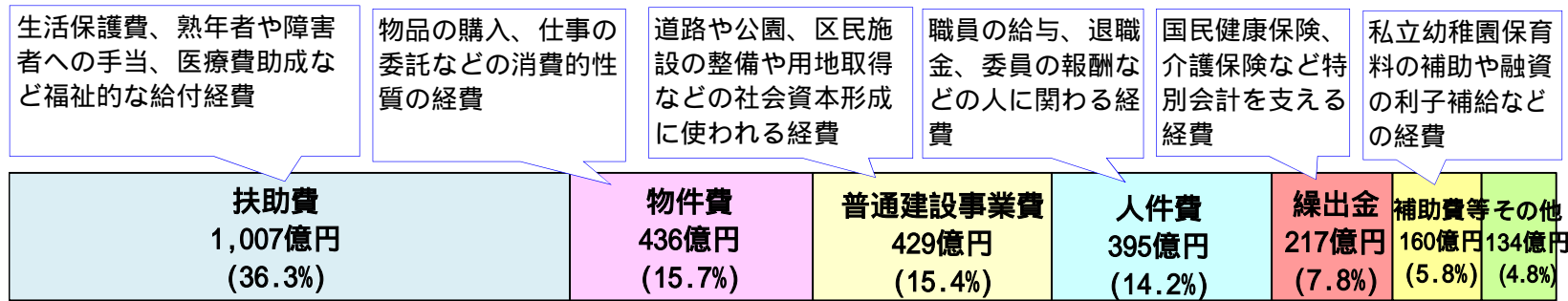
家計でいうと借金です。
 学校や道路などの施設整備において、将来、これらを利用する区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債を借り入れ、負担の公平を図っています。
 なお、令和元年度には、健全財政を堅持しつつ、将来世代に負担を先送りしない行財政運営を目指し、繰上償還を行いました。

令和3年度 当初予算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。



歳出の性質別内訳



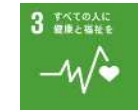
区の職員数は、清掃事業が移管された平成12年度に5,057人まで増加しました。行財政改革などにより、平成13年度以降、減少し続けていましたが、令和3年度には3,806人となり、前年に比べ14人の増となりました。

おもな新規・拡充・重点事業



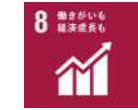
SDGsの推進

SDGsについて区民や事業者の皆さんが「知る・理解する」ことができるよう、さまざまな普及・啓発事業を展開します。



災害時避難行動要支援者への支援

災害時に特に支援が必要な方の事前の避難行動や安否確認に活用するため、災害時避難行動要支援者名簿を作成します。また、優先すべき要支援者の避難場所の指定を行います。



みんなの就労センター運営支援

障害者や高齢者、引きこもり状態にある方など、働きたくてもなかなかその機会に恵まれない方に、一人ひとりに合った就労スタイルの場を提供する新法人「(一社)みんなの就労センター」の運営を支援します。



コロナ回復リスクスケジュール支援

コロナ禍により経営が悪化した中小企業者の債務負担を軽減するため、返済条件の変更(リスクスケジュール)を支援します。



総合型地域パラスポーツクラブ設立検討

さまざまな世代の障害者の方が、継続的にスポーツに取り組むことのできる環境をつくるため、障害者スポーツに特化した総合型地域スポーツクラブの設立を目指します。



大規模水害時自主的広域避難補助 <緊急時に災害対策基金から繰り入れ>
大規模水害の恐れがあり広域避難情報を発令した場合に、区民が自ら宿泊施設を確保するための経費を一部補助(一人1泊3,000円・最大3泊まで)し、自主的な広域避難を促進します。



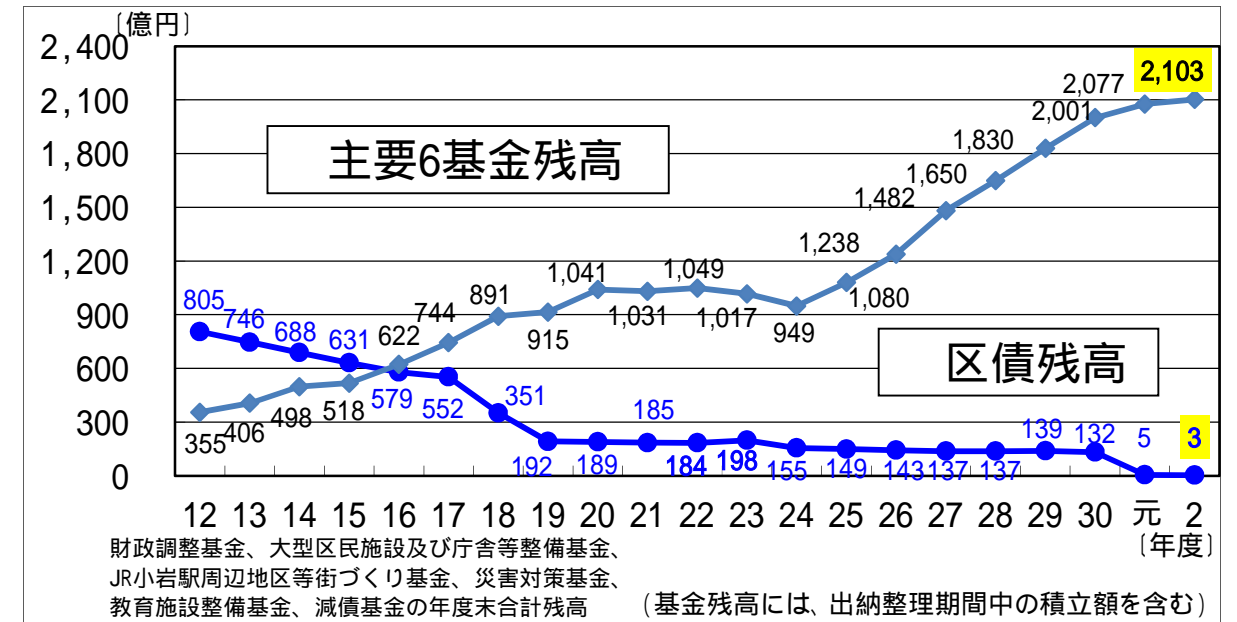
気候変動適応センターの設置

「気候変動適応センター(気候変動適応本部)」を設置し、地域における温暖化対策と気候変動適応策に力を入れ、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進します。



AIを活用した児童相談業務の効率化

区児童相談所において、AI技術を活用したシステムの導入により、業務の効率化を推進し、迅速な援助に取り組めます。



区債残高は、平成18年度、19年度、24年度と令和元年度に繰上償還を実施し、令和2年度末は3億円になりました。

主要6基金の残高は、「教育施設整備基金」などへの積立により、令和2年度末では2,103億円に増加しました。

令和3年度予算額

<3億7,231万9千円>

<583万円>

<1,275万8千円>

<4,849万8千円>

<24万6千円>

<緊急時に災害対策基金から繰り入れ>

<9,991万3千円>